

電子情報通信学会国際会議コンテンツアーカイブシステム

IEICE Proceedings Series を利用しませんか？

IEICE Proceedings Series は、どなたでも大切な国際会議のコンテンツをアーカイブし、全国の多くの大学、研究機関の図書館を中心として公開することが可能です。電子情報通信学会と直接関係なく、他学会、大学、企業主催の国際会議等のコンテンツを利用できます（審査あり）。また、利用数に応じて、リベート収入が学会に入ります（学会主催の場合のみ）。

電子情報通信学会とは

電子情報通信学会は、100年以上の歴史を持つ、国内最大級のデバイスからネットワーク、アプリケーションをカバーする国際的な学会です。企業や大学等のエンジニア、研究者など3万人が会員となっており、その約1割は外国人会員です。

本学会は論文誌や国際会議、国内学会等のコンテンツをアーカイブするシステムを持っており、現在40万件以上のコンテンツを保有しています。

本学会は低料金で、重要な技術研究のデータを大切に保管し、利用し、科学技術の発展に寄与することを目指しています。

[料金]（詳細はお問い合わせください）

- ・ **クローズドアクセスの場合**：掲載料は、30万円 or 論文総ページ数×1,000円の高い方となります。例えば、4ページの原稿が20件の場合、80ページ×1,000円=8万円なので、掲載料は30万円となります。6ページの原稿が100件の場合、600ページ×1,000円=60万円なので、掲載料は60万円となります。
- ・ **オープンアクセスの場合**：掲載料は、60万円 or 論文総ページ数×2,000円の高い方となります。例えば、4ページの原稿が20件の場合、80ページ×2,000円=16万円なので、掲載料は60万円となります。6ページの原稿が100件の場合、600ページ×2,000円=120万円なので、掲載料は120万円となります。なお、一部のコンテンツのみをオープンアクセスとすることも可能です。その場合の掲載料は、全体ページの20%を超えない場合は、2,000円×オープンとするページ数となります。全体ページの20%を超える場合は、60万円 or オープンとするページ数×2,000円の高いほうとなります。

■ IEICE Proceedings Series に掲載には (A) ~ (C) が必要です。

- (A) IEICE Proceedings Series 登録申込シート
- (B) 国際会議のメタデータファイル（3種類：会議ファイル、セッションファイル、文献ファイル）
- (C) 国際会議の論文本文ファイル（pdfファイル）

[注意事項]

- ・ 原則、著作権を保持しているもしくは放棄している文献に限定しています（他学会等と共有の場合は、了解があれば原則OK）。
- ・ 非排他的な使用权を電子情報通信学会に付与いただきます。
- ・ コンテンツは収録後10年を経過すると全てオープンアクセスとなる予定です。

IEICE Proceedings Series	
Conference	Year
APCC	2013, 2014
APNOMS	2013, 2014, 2015
APRMT	2013
APWMB	2013, 2014, 2015
APWMT	2013, 2014, 2015, 2016
APW	2013, 2014, 2015, 2016
ICAP	1971, 1973, 1985, 1986, 1990, 1995, 2000, 2002, 2004, 2007, 2012
WALUB	2013, 2014, 2015
WCSST	2014
WCS	

データ送付先・お問い合わせ先：

一般社団法人 電子情報通信学会国際会議コンテンツ WG

✉ kaiin2@ieice.org

